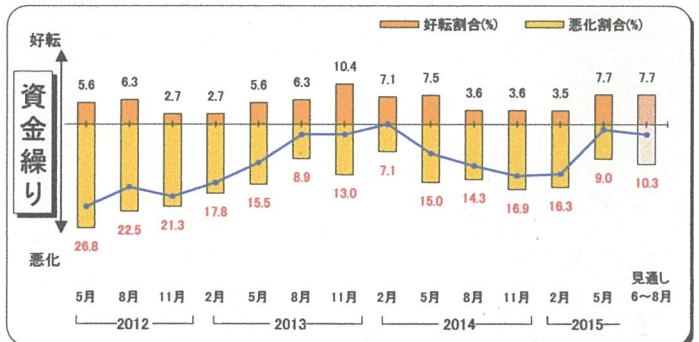
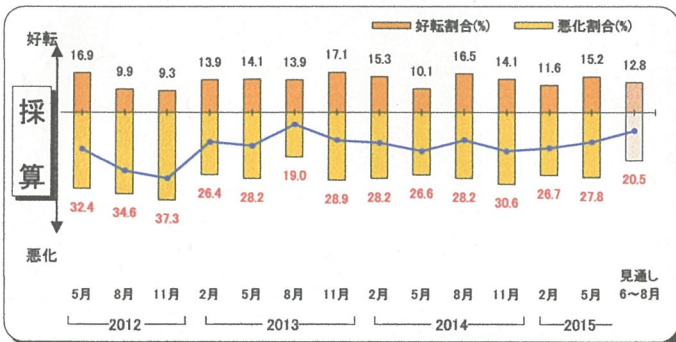
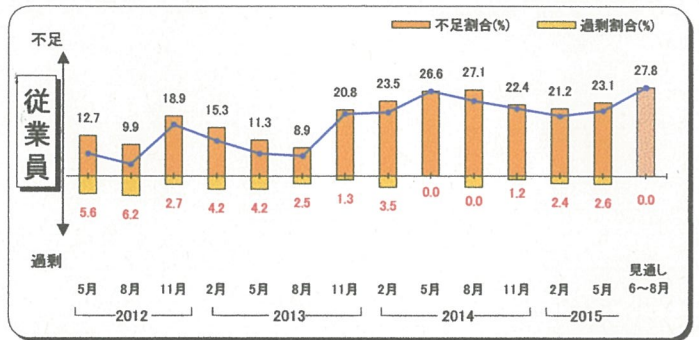
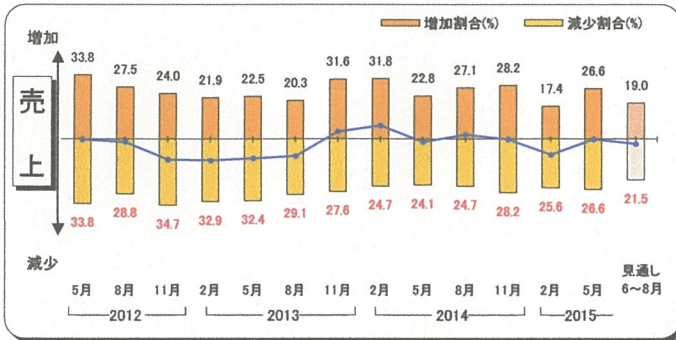
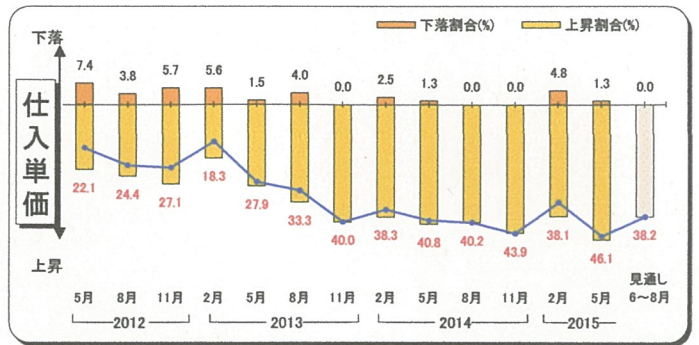
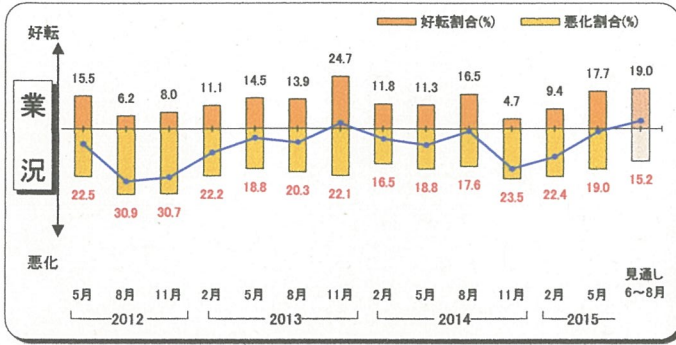


【サービス業】①



【サービス業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

運輸附帯サービス業	株式市場を含め、景況感は総じて良い報道だが、実感が持てないのが現状だ。確かに一時期の不安から解放された感はあるが、中小零細の我々にはいまだ影響はない。売上等は現状維持が若干減少、人件費の高騰、その転嫁が資材の価格の高止まりに推移するのが予想され、厳しさを増すのが気になる。中小零細は大きな経済の流れに乖離しているので現状には不満だが、かといって対策等は難しい。
損害保険代理業	自動車保険料が毎年のように引き上げ傾向で変動しているので、販売第一線としては営業しづらい状況です。
建築設計業	耐震改修もひとまず落ち着き、住宅を含む民間案件は少ない状況が続いている。今後も官庁案件の発注を期待している。
建築設計業	新年度が始まり入札も始まりましたが、好景気であるという実感なくずるずると不況のラインまで後退している感じがします。世を上げてワイワイという感じが全くしないのです。
建築設計業 旅館・ホテル	昨年に引き続き現時点での業績見通しは明るい。公共事業の予算の適正な実施を望む。景気の活性化を望みます。
専門料理店	1. レストラン業のメニュー価格を一部改定した分売上高が増加した。但し仕入原価の上昇分を補える程度である。2. 輸入部門では営業努力をして売上を増やした。為替（円安に対する値上げは行っていない。）3. 上記の結果、若干利益増が見込める状況になった。
そば・うどん店	町内に新規オープンコンビニが2店舗、月末にオープン予定が1店舗。コンビニ弁当の影響は否定できません。
機械修理業	中古建機の国内需要停滞に入った様子が有り、価格が下がり気味、海外需要は大勢、もう一段階の円安にて拍車がかかると思われます。
とび工事業	ストレスチェック、マイナンバー制度の対応（事務処理工数大、費用 up）